大熊町大野駅西交流エリア　CREVA おおくま・クマ SUN テラス

福島県大熊町は 2011 年の東日本大震災および原発事故により全町避難を余儀なくされた町である。住民や地元企業の帰町と町の将来を担う新産業創出を促進するため、町全体を実証の場と捉え、ゼロから挑戦できる環境を整備した。

今後も段階的に復興が進んでいく状況を踏まえて、各施設が広場を中心として取り囲む構成で、町の発展に合わせて整備する余地を残した計画とした。クマ SUN テラスは生活と交流の中心となる場であり、ヒューマンスケールの店舗群でかつて商店街のあった町の原風景を継承している。CREVA おおくまでは、約半分を占める面積を交流や共創のための場として開放し、新産業創出に寄与するワークプレイスと、利用者の垣根をこえた交流の場を共存させた。また、持続可能な復興まちづくりに取り組む大熊町の新たな中心施設として、町の気候特性を生かした計画によりすべての棟で NearlyZEB および ZEB の認証を取得しゼロカーボンを先導している。

先行して整備されたインキュベーション施設で起業し、成長して CREVA おおくまに入居、さらに町内で本格操業を開始している企業もあるなど、町の産業は着実に育ち移住者が増えつつある。町の新しい可能性を切り拓く創造的復興の第一歩として、14 年ぶりに大野駅前に町の玄関口・生活と産業の拠点が完成した。

3 層吹抜の一体感ある大空間を木と鉄の組み合わせにより実現

各階バルコニーも活動の場に

豊かな自然と町の発展を眺めるラウンジ

木軒天やカウンター等、居場所となる場に光を灯す

ヒューマンスケールの店舗がつらなる

建具を全開放し広場と一体で利用

広場に隣接するキッズスペース

[建築主] 大熊町
[用途]　事務所/展示場
　　ラウンジ・キッズスペース・飲食店・物販店舗・事務所
[所在地] 福島県双葉郡大熊町
[設計]　清水建設・関・空間設計 特定建設工事共同企業体
[施工]　清水建設株式会社東北支店

	CREVAおおくま	クマSUNテラス
敷地面積	8,126.48㎡	15,689.90㎡
建築面積	4,320.83㎡	1,818.50㎡
延床面積	10,308.69㎡	1,627.65㎡
階数	地上3階	地上1階
最高高さ	17,630mm	5,589mm
構造	鉄骨造/木鉄ハイブリッド架構(屋根)	鉄骨造